

取組みの成果が出てきました！

横井が提起した「家庭ごみ収集業務の民間委託化」が、「奈良市行財政改革重点取組項目」の看板政策になりました。

奈良市が平成27年度から平成29年度までの3年間、重点的に取組むべきとした政策集「奈良市行財政改革重点取組項目」の一角に入りました。数値目標としては、平成29年度に民間委託率を70%にするとしています。

ろう者と手話関係者の意見交換会開催！

横井の提起に対し奈良市が検討していた、ろう者と手話関係者が意見交換する場として、28年3月2日、「手話を語る・市民懇談会」が開催されました。奈良市の声かけに、ろう者、手話通訳者、手話サークル等で活動する方々に加え介護施設従事者など約50人が参加し、意見交換がありました。手話を広めてバリアフリーなまちをつくるため定着してほしいと思います。

よこいくんの取組み

視察レポート ～辰市小学校視察～

ICT教育のモデル校である辰市小学校を視察いたしました。27年9月から**4年生以上全員**にタブレット型パソコンが貸与され、授業改革により学力向上を目指されています。井岡校長は「成果も課題も出てきた」とされ、デジタルだけではダメで、児童と直接触れ合うアナログも大切とおっしゃっていました。今後もICT活用の現場に注目していきたいと考えます。

(今回は、奈良市教育委員の畑中康宣氏と一緒に視察いたしました)

<平成28年3月10日>

出前トーク開催報告！

平成27年11月14日、ご近所の女性8人の集りに出かけました。横井の中心政策をお話した後、「新火葬場の移転問題」「新清掃工場の移転問題」などについて意見交換いたしました。いずれも奈良市民全員の問題として「できるだけ早く実現してほしい」との想いをお聞かせいただきました。

また、子どもの貧困問題にも関心をお持ちで、「子どもが元気になるまちづくり」をしてほしいとのご要望を承りました。できることから取り組んでいきます！

盲ろう者・通訳介助活動レポート

平成27年12月13日

奈良マラソンに出場する友人を応援したいという盲ろう者(全く聴こえなくて、視野狭窄の方)の通訳介助をしました。奈良市内の街角で、電車で移動して天理市内での街角で、奈良市鴻池グラウンドで、一緒に応援しました。

人の往来が多い中での徒歩移動や混んでいる電車の乗降の時、とても気を遣いました。無事役目を果たすことができましたが、私の手話力はまだまだ努力が必要と痛感しました。



奈良マラソン風景

平成28年1月11日

この日は、新年会に参加される盲ろう者(全く聴こえなくて、弱視の方)を通訳介助しました。その新年会を主催される立場の方でしたので、誰かが会場へ到着されるたびに、会の進行具合が変わる度に、状況を伝えていくことが重要な仕事でした。また、お座敷で座布団が並び会場は足元に危険がいっぱいで、とても気を遣いました。

～東日本大震災 被災地支援活動～ 『パイ・メイドイン・東北 運動』実施中！

福島県本宮市にある鈴木農園さんのりんごが届きました。2015年は猛暑の後、低温と不順な天候が続いたそうですが無事「ふじ」の収穫ができたそうです。東日本大震災後、毎冬、福島のリンゴを10kgだけ買っています。少しでもですが続けることが大切だと思っています。



鈴木農園さんのりんご

みなさんのところへ、出かけて行きます！

政治のことをわかりやすくお話しします。それが、横井雄一の「出前トーク」です。



まずは、お電話ください！

横井雄一の電話番号

090-1598-4519 まで

よこいゆういち 検索

横井雄一オフィシャルホームページ <http://www.yokoi-y.com/> 横井雄一メールアドレス yokoi-y@kcn.jp よこいくんのつぶやき [yokoiiyuichi](#) (横井雄一) on twitter

「横井雄一事務所」のフェイスブックページができました ▶ <http://www.facebook.com/yokoi.yuichi>

奈良市議会議員 横井雄一 議会レポート vol.14

平成28年5月1日発行 発行/横井雄一事務所
〒630-8301 奈良市高畑町51-10
TEL 090-1598-4519 FAX 0742-23-0860

「世界にたったひとつの奈良」の実現に向けて サラリーマン横井の活動をお伝えします

YOKOI Report

よこいレポート

奈良市議会議員の横井雄一でございます。
「サラリーマンが普通に政治に参画できる奈良」の実現を目指し、
小さなことから少しずつ、いつもみなさんの身近にいる
政治家として活動してまいります。

おすすめ、
行政改革！

7年目活動中です!!

みなさんの声を議会で質問しました

① 「入江泰吉旧居」をどんな施設にしたいのか。 【27年12月議会】

横井の質問

2015年3月オープンの「入江泰吉旧居」。奈良の宝である入江泰吉氏をどうしたいのか。どんな施設に育てたいのか。



入江泰吉旧居

教育総務課長の答え

入江氏の人となりに触れることができる施設として、奈良を愛した写真家・入江泰吉を盛り立てる。

さらに質問

施設の運営はもっと現場の自主性を尊重しては。

仲川市長の答え

企画やアイデアを出していただき、現場の声を中心に運営していく。

さらに要望

その市長の想いがきちんと現場に伝わるよう采配いただきたい。

② 公民館をもっと使いやすくして! (1)

『時間区分と料金について』 【27年11月 観光文教委員会】

横井の質問

例えば「生涯学習センターのスタジオ」の貸出。午後は1時から5時までの4時間で1640円。でも4時間も使うことはまずない。2時間毎で840円にしては。

生涯学習課長

時間区分を細かくすることで市民にメリットがある。利用者の声を聞きながら、市民にとって使いやすい公民館になるよう検討する。

さらに質問

そのために今の条例を変えるべきでは。

仲川市長の答え

必要があれば、条例改正も検討する。

横井雄一オフィシャルホームページ <http://www.yokoi-y.com/> 横井雄一メールアドレス yokoi-y@kcn.jp よこいくんのつぶやき [yokoiiyuichi](#) (横井雄一) on twitter

「横井雄一事務所」のフェイスブックページができました ▶ <http://www.facebook.com/yokoi.yuichi>



② 公民館をもっと使いやすくして! (2)

『事前予約の時期について』【28年2月 観光文教委員会】



奈良市の公民館の利用予約は4週間前からしかできない。県内の他市では2か月前や3か月前からできる。少なくとも2か月前から予約できるようにしては。

生涯学習課長の答え

利用者の声を聞き、市民にとって使いやすい公民館になるよう検討する。

③ 体育館の床でケガはこわい!

【27年11月 観光文教委員会】



全国では体育館の床板のささくれ等でケガをする事故が起きている。奈良市の学校は大丈夫か。

教育総務課長の答え

奈良市の学校に事故事例はなく、直近の点検でも傷みはなかった。しかし、定期的に安全点検を行う。

さらに要望

体育館だけでなく校庭や運動場にも気を配ってほしい、と要望しました。

④ 食育にもっと力を入れて!

【28年2月 観光文教委員会】



給食の食べ残しが全国的に増えていると聞か、奈良市の学校はどうか。

保健給食課長の答え

食べ残しはある。学校ごとに栄養教諭・栄養職員等が立ち会い、おかずの種類ごとに食べ残しの量をチェックしている。

さらに質問

食べ残しの量を記録し、その理由を把握し分析することが必要と考えるが。

保健給食課長の答え

教育委員会として把握していなかった。今後は、食べ残しに関わる情報収集に努め、小学校の低学年から食育指導を系統的にやっていく。

さらに主張

食べ残しによって子どもの発育、健康を損なうことは避けなければならない。奈良市の学校は食育も充実している。若い人、子育て世代の方も奈良市に魅力を感じていただけると考える。お互い努力しましょう!

⑤ 地元住民の気持ちを汲み取って!

【28年3月議会】



奈良県と協定を結んだ「奈良公園周辺地区」のまちづくり。28年度に多額のお金を使って構想策定作業に着手されるようだが、この地区内には、都市計画道路猿沢線の拡幅事業を抱える。鶴福院町をはじめ地元住民の意向を反映してくれるのか。

仲川市長の答え

地域住民の方々の意見を伺い、ご支援を頂けるような構想にする。

さらに要望

地域住民を置き去りにした構想づくりを進めてはいけない。意見をよく聞いてほしい。

⑥ ならまち界隈にも「路上喫煙禁止」の検討を。

【28年3月議会】



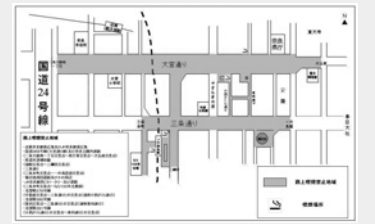
近年、観光客が多く訪れてくださるならまち界隈。通りは狭い道も多く、お店や民家が密集しているので、路上喫煙を抑止するために検討しては。

環境部長の答え

地元の方々や観光客等、幅広く意見を聞き検討する。

さらに要望

「奈良市路上喫煙防止に関する条例」は施行以来変わっていない。条例改正も含め検討してほしい。



現在の路上喫煙禁止地域



聴覚障がい等特別な配慮が必要な子どもの教育を充実してほしい!

27年6月議会で、椿井小学校の聴覚障がい児教育のさらなる充実と三笠中学校への通級指導教室の開設を求めて問題提起しました。

続いて、27年8月の観光文教委員会で、小学校に入る前の聴覚障がい児への支援を求めて質問しました。

さらに、11月の委員会で、聴覚障がい児以外の「通級指導教室の充実」も問題提起しました。

『通級指導教室をもっと充実して!』

【27年11月 観光文教委員会】



奈良市の通級指導教室の現況(27年度)

校 名	教室種別	生徒数	担当教師数
椿井小学校	きこえの教室	14人	1人
済美小学校	ことばの教室	36人	2人
あやめ池小学校	ことばの教室	32人	1人
鳥見小学校	ことばの教室、ステップ教室	57人	2人



各教室の児童生徒数に対する担当教師の人数が少ないのでは。文部科学省の目安は10人の児童生徒に対して1人配置だが。

教育委員会の答え

少ないと認識している。奈良県に対し増員要望を行う。

さらに横井の質問

近年、発達障がい児は増えている。奈良市に一つしかないステップ教室を増設すべきでは。

教育委員会の答え

必要性を認識している。奈良県にステップ教室の増設を要望する。

さらに横井の質問

奈良市は「小中一貫教育」を掲げている。ならば、各中学校にも通級指導教室を設けて、小中一貫してサポートの質と維持を図るべきでは。

教育委員会の答え

特に発達障がい児は長期にわたる指導が必要で、中学校にも必要だと認識している。開設に向け奈良県へ要望する。

【用語解説】

「通級指導教室」…通常の学校に在籍する比較的軽度の障がいがある子どもに対して、障がいの状況に応じて特別な指導を行う教室。

準備も含め一年半がかりで議論してまいりました。教師の増員や教室の増設は奈良県の采配によるところが大きく、もどかしい思いはありますが、今後も取り組んでいきたいと思ひます!